



●9月の巻頭文 『今夜は中秋の名月』

本田哲郎



今夜9月16日は中秋の満月との事で、自分の携帯のラインに二組のグループの方が、満月をUPしてくれていることが分かり、それまで、「寅さん」の映画をBSで観ていたことで、それを見終わってから、前庭に出て、久しぶりに夜空を仰ぎ、快晴のなかでの満月を眺めることができた。

もう、中秋か？とはマダ、実感がない。

残暑が厳しく、コロナ禍でもあり、自室に籠りがちであり、エアコンもフル回転である。

しかし、何やら、テレビなどでは「里の秋」などの懐かしい秋季節の唱歌などが流れている。

しかし、田舎ではあるが、まだ、例年の涼しげな虫の音は聞こえてこない。

幼い頃、この地元の田舎では、中秋の名月の夜は、月明かりの下で、毎年、「綱引き・相撲大会」が、集落ごとの伝統行事として、にぎやかに行われていた。

この行事の主役は、当時の小中学生から高校生を主体として、夏休みの8月の盂蘭盆が終わる頃から、準備【各家庭を回り、稲藁や米作農家でない家庭では小銭などの寄付をもらう】ことと、綱引きの「芯」となる集落のすぐ近くにある愛宕山周辺に密生している「カズラ」を取って、青年団や高校生などの方々が、愛宕山の頂上【広場】で、綱に練り上げて、それを小学生らも全員で、麓まで肩に担ぎながら降りてゆく。



住宅近くの空き地で、その「カズラ」で出来た芯にして、さらに、住民から頂いた稲藁をその上に巻いて、直径30cmほどの太さの大きな綱に完成させる。

それを、トグロを巻いて、保管しておいて、十五夜の夜、当時の集落の直線道路上で、集落民総出の綱引き大会となるのである。勿論、子供、大人も数はそろえての紅白に分かれての、綱引き大会である。

周辺のアチコチの各集落からの綱引き大会の大きな歓声が、響いてくる。

その綱引き大会を楽しんだ後、やはり、道路にその綱をトグロに巻いて、稲藁を敷いて土俵を作る。

今度は学年ごとに、当時は男の子だけの相撲大会となり、賞品も、皆さんから集めた小銭で購入したノートや鉛筆などであった。

兎に角、毎年恒例行事であり、当時は、その使用する県道なども、車も少なかったが、町の駐在さんが【警察官】が、例え自動車などが来ても、迂回を要請してくれていたことで、月明かりのなかでの、集落を挙げての「伝統行事」であった。

いつのまにか、過疎化・少子化が進み、この伝統行事も、自分が帰郷した22年前も、既に行われていなかった。

どうやら、終戦後が最も子供も多かったが、昭和40年代ごろに、消えてしまったようである。



自分が小学生の頃からの、懐かしい「思い出」であるが、このような行事もなくなって、寂しい限りである。

○大石さん



八期会通信 8月号 まとめ 見せて頂きました。

編集 ご苦労様です。

磯海水浴場 久しぶりの写真 懐かしいです。遠泳も行われましたね…

8月も 安部元首相の国葬 亡くなられたところが わが町 生駒よりそう遠くないところでの事件 事件後の対応処理にも いろいろ 批判がありました。まだ、田舎町という感じです。

奈良市西大寺 警備に不備が指摘されていました。警察長官、県警本部長上層部の辞職が 新聞に掲示されたり 国葬問題を マスコミをにぎわしたり、岸田首相の決定に対し、法制長官と内閣府の法制局の対応見解に多少 差が生じているようなことが マスコミで話題になっています。これらが 国民のアンケートにも影響されているのでは… と思ったりしています。

ご苦労様でした。 今後も よろしく 木場 祥雄

○八期 大石様 皆様



いつも配信 ありがとうございます。八月 暑い季節 終戦直後の食糧難、物不足の生活等々 あの時代を思い出します。戦争の悲惨さを体験した世代の我々 平和ボケにならないようにと 思っています。 ありがとうございます。 長崎 諫早 森永

京セラ・稲盛名誉会長のご逝去、お悔やみ申し上げます

●稲森さんは玉龍の同窓会でも見かけたことがありました。



お父上が亡くなり、西本願寺で葬儀が執り行われたときも参列しました。(香典は受け取らず、逆に会葬御礼はいただきました)

一番印象に残っているのは今から 20 年くらい前、「ざぼんラーメン」で私がラーメンを食べているときに当時鹿兒島大学で定期的な講座を持っておられた

稲森さんが「ざぼんラーメン」に黒塗りの高級車で来て、運転手(秘書?)と二人で私のすぐ近くの席でラーメンを食べてもらいました。

その支払は、自分で財布を出して二人分払われたのを覚えています。私同様「ざぼんラーメン」のファンだったのでしょ。最後になりましたが、稲盛名誉会長のご冥福をお祈り致します。 合掌

●本当に惜しい方が亡くなりましたね



私は面識はありませんが、著書を贈呈して礼状をいただきことがあります。

JALのマークを鶴に戻していただくことは鹿兒島にとってありがたいことです。

その功績と影響の大きさから 葬儀はさぞがし民間による国葬並みになるのではないのでしょうか

ご冥福をお祈ります。合掌。

=====西山 和宏=====

●森コメント

葬儀は家族だけで行われて後日偲ぶ会をされるようです。

●そうですか

盛大な偲ぶ会になるでしょうね =====西山 和宏





稲盛和夫氏、苦悩の末にたどり着いた「無私」の境地 「稲盛イズム」はどのようにして生まれたのか(上)

2022.8.31

日経ビジネス 編集部

セラミック部品ベンチャーを世界的な電子部品メーカーに育て上げた稲盛和夫氏。人々を魅了したのは、経営者の枠にとどまらない、無私を貫いたその人間性にある。稲盛イズムはどう形成されたのか。日経ビジネスの記事を再構成して振り返る。

(写真:菅野勝男)

「社会が必要としているもので、開発不可能なものはない、というのが私の信念です」

1973年7月9日号の日経ビジネスに京都セラミック(現京セラ)社長として登場した、当時41歳の稲盛和夫氏はこう語っていた。自信たっぷりのようにも見えるが、実際には、開発できなければ、生きていけないという悲壮感から生まれた「信念」だったはずだ。

○ 1959年、スタッフを含めて28人でスタートした京セラ。いくら技術力があっても、名もないベンチャー企業に、すぐに顧客が飛びつくわけがない。「注文が出たら絶対断らない。技術的な裏付けがハッキリしていなくても、『やりましよう』と引き受けてくる。

引き受ければやらざるを得ない。ダメでしたではもう相手にしてくれない。必死に技術開発をし、納品する」。稲盛氏創業時代の取り組みをこう振り返っている。

「みじめだった」米国行脚

当時、外国からの技術導入に頼っていた日本。国産技術の評価はなかなか得られなかった。そこで稲盛氏は海外に目を向けた。それも「技術の国」、米国である。「日本の企業が輸入している製品に京セラの部品が使われていれば」。いわば、国産技術を逆輸入させる発想だ。

「語学はダメ」だという稲盛氏だったが、足を棒のようにして米國中を歩き回った。東部から西部へ。西部から東部へ。ホテルも食事も切り詰めての御用聞き。それでも63年、64年の訪米時の注文はゼロ。稲盛氏は「みじめだった」と述懐している。

65年の3度目の訪米で果実を得た。当時、日本の技術や製品を導入しないことで定評があったという米半導体大手テキサス・インスツルメンツ(TI)から米航空宇宙局(NASA)の宇宙計画で使うセラミック部品の受注を勝ち取ったのだ。西ドイツのメーカーとの競争の末での初めての注文。

これを突破口に京セラは米国進出の足掛かりをつかみ、成長の土台を築くことになる。

急成長を遂げた京セラは、71年に大阪証券取引所第二部と京都証券取引所に、翌72年には東京証券取引所第二部に株式を上場。セラミックス部品の急成長企業として一躍注目を集めるようになる。

それでも稲盛氏は浮かれなかった。73年7月9日号の記事では稲盛氏のこんな言葉を紹介している。

「京セラの今日を築いたのは信頼に基づく人の和である」

鹿児島大学卒業後に就職した京都の碍子(がいし)メーカー、松風工業を先輩や上司などと共に飛び出して立ち上げた京セラ。その仲間たちで「一致団結し、世のため人のためになることを成し遂げる」と、誓いの血判状を押した逸話が残る。

創業資金は、稲盛氏が持つ技術力と人柄にほれ込んだ人々が援助。その額は300万円だった。「この金を思い通りに使え。しかし、この金に使われるな」。出資者は稲盛氏にそう助言したという。こうした人たちの決意と助けがあったから京セラは誕生した。だから稲盛氏は「信頼に基づく人の和」を大切にしてきた。とはいえ、創業時の稲盛氏は弱冠27歳。一介の技術者が社員を率いる立場になった。後に稲盛氏は日経ビジネスの連載「敬天愛人～西郷南洲遺訓と我

が経営」(2005年10月3日号から13回)で、「一体全体、どうやって物事を判断すればいいのか迷いに迷いました。その間にも、私の判断を求める案件はどんどん上がってきます」と振り返っている。

西郷隆盛の教え悩みぬいた末にたどり着いた答えが、子供の頃に父母や小学校の先生から教わった「人間として正しいことを判断の基準にする」ということ。

「経営術を知らない私にとって、そんなプリミティブな道德観、倫理観しか持ち合わせていなかったというのが本当のところです」と稲盛氏は述べている。

稲盛氏は年長者が年少者に文武を教える薩摩藩士の子弟教育制度「郷中教育」の文化が残る鹿児島県で生まれた。そうした教育環境の中で育ったからこそ、道德観や倫理観が自然に身に付いたのかもしれない。

もう一つ、稲盛氏の心に深く入り込んだ思想がある。同郷の西郷隆盛(雅号は南洲)の教えだ。

時に藩主の怒りを買って島流しされるなど、艱難辛苦(かんなんしんく)の人生を歩んだ西郷隆盛。その思想の根幹に稲盛氏は「敬天愛人」があると考えていた。自然の道理、人間として正しい道、すなわち天道をもって善しとせよ、己の欲や私心をなくし、利他の心をもって生きるべし——。「敬天愛人」はこう説く。

「無私」でなければ、リーダーは務まらないことは、稲盛氏は身をもって経験した。

創業3年目のこと。前年に初めて採用した高卒社員が10人ほど集まり、稲盛氏に詰め寄ったことがあった。

「こんなボロ会社だとは知らずに入社してしまった」「将来が不安でたまたま安心して働けない」「定期昇給とボーナスを保証してくれ」「認めてくれなければ今日限りで全員辞める」。彼らは、血判状まで用意してそう稲盛氏に訴えたとい。

「できたばかりの小さな会社だ。そんな約束はできない、皆の力を合わせて会社を発展させていこう」と説得する稲盛氏。それでも「我々にも生活がある。あなたが保証しろ」と、一步も引かない社員。稲盛氏は自宅に連れて帰り、3日3晩、話し続けた。

「私の誠意だけは信じてほしい。もし、それを踏みにじるようなことがあったら、私を殺してもいい」。稲盛氏のこの言葉で小さな反乱はようやく収まった。

ホッとしたのもつかの間、稲盛氏はその夜、眠ることができなかったという。

社員だけでなく、彼らの家族の生活まで、命を懸けて守ると約束してしまったからだ。

京都セラミックは、自身の技術を世に問う場として、支援者・理解者に作ってもらったという思いが稲盛氏には強い。ところが、その理想は吹き飛び、社員の生活を守ることが会社の目的に変わったことに稲盛氏は気づかされた。

敬天愛人が救った

○8月31日

謎の巨星 墜つ大先輩 稲盛どんは誰も敵わん偉大な業績を達成された郷土の誇り、同窓の誇りであるが、本を読んでも教義を聞いても社員に接しても自分には結局、理解し切れないお人であった。

京セラ自体も何となく陰のような裏のような印象が付き纏う実態不明の存在であったが、圧巻は JAL 再建地獄のストーリーでしょうか。

ご本人に関する総括や評価が今から始まることであろうが、森君ご指摘の国内叙勲の有無もまた、核心に迫る重要なキーワードかと、論壇の展開をチムドンドンして楽しみにしています。

-○中国スケッチ②③三峡クルーズ PDF ダイアリー送ります。



-25 頁の PDF ダイアリー『大石ケイジの中国スケッチ②③三峡クルーズ』を書き終わりました。ちょっと読むのがしんどいかも知れません。

おそらく後にも先にもこんなに長いダイアリーは無いと思います。中国スケッチでのことですが... 本元のユーチューブ動画も90%終わっています。ナレーションに戸惑っています。

○大石さん



大石ケイジの中国スケッチ⑳を読ませていただきました。

プロローグ 25ページ 読みました。八期会通信と合わせたら かなりのページとなりました。

勝手ながら 言わせていただきますと 人の苦勞も知らずに 何を言うか・・・とお叱りをうけるかも 知れませんが 初めてで最後になった家族の写真が 見わたりにせん？

できれば、三国志関連を まとめて 三峡の雄大な景色など 半分ぐらいのページにまとめていただけたらなあ・・・と思いました。

25ページは 多少 目が 疲れました。

去年は 三峡ダムが水位が上がり、壊れるのでは・・・と心配され、今年は この地方は 水不足で水力発電ができず、停電発生 進出企業も大変な状況下にあるとか 火力発電を フルに稼働させているとか 大変なようです。もし、動画だけのものを 期待しています。(勝手なこと言いましてすみません。)

よろしく 木場 祥雄

○長い自己満足の作文集(一つは皆さんの投稿)が同時に送付して申し訳ないです。

しっかり目を通していただき感想迄ありがとうございます発送した甲斐がありました。



ダイアリーの方は「読みやすくより記録に残す」つもりなのでカツコ付きで文字の小さな文章は飛ばしてください。と思って書きました。

三峡ダムの今の状況・・・よく知ってますネ。

勉強になりました。

そして、最初の話し「家族^_^3 人で行ったのはこの年の秋 11 月 20 日からの【黄山に登る】でいつか中国スケッチで書きたいと思えます。

いつもいいご意見をありがとうございます。

ケイジの中国スケッチより。

○家族での海外旅行はいいですね



業務とはいえ一人だけで度々行くのは少し気が引けます

私は 80 歳近い年寄り 3 人も一緒に家族でハワイに行ったことがあります。

=====西山 和宏=====



○ KDDI 小野寺元社長が語る稲盛イズム「叱られてもほっとする」

2022.9.2

京セラ創業者で名誉会長の稲盛和夫氏の功績の 1 つに、DDI(第二電電、現 KDDI)の設立がある。戦後、日本電信電話公社(現 NTT)1 社だけだった通信業界に風穴を開けた。DDI は 1984 年の設立後、2000 年に KDD(国際電信電話)や IDO(日本移動通信)と合併、KDDI が誕生した。

KDDI 元社長の小野寺正氏は、稲盛氏の薫陶を受けた中心人物の一人だ。1970 年に東北大学工学部を卒業後、NTT の前身である電電公社に入社。無線部門などを担当した後の 83 年、京セラの迎賓館として知られる和輪庵(わりんあん)で稲盛氏に出会う。

そして稲盛氏らに引き抜かれ、84年に36歳で第二電電へ入社。2000年、トヨタ系のIDO、KDDとの合併後、01年に社長に就任して同社の成長をけん引した。小野寺氏は、恩師・稲盛氏が掲げた、携帯電話「一人一台」時代を共に実現させた立役者でもある。利他主義を据える「稲盛イズム」を間近で見えてきた小野寺氏が、鋭くも人間くさい



恩師の一面を振り返る。

1970年東北大学工学部電気工学科卒業、日本電信電話公社(現NTT)入社。84年第二電電(DDI、現KDDI)入社。89年取締役、95年常務、97年副社長。2000年にDDI、KDD(旧国際電信電話)、IDO(旧日本移動通信)3社が合併し、現在のKDDIが発足。01年に代表取締役社長就任。05年代表取締役社長兼会長、10年代表取締役会長を経て、18年相談役。21年に相談役を退任。(写真:的野弘路)

稲盛さんの訃報をどのように受け止めていらっしゃいますか。

小野寺正・KDDI元社長(以下、小野寺氏):京都の方から直接、お電話をいただきました。とうとう、この時が来てしまったのか、というのが正直な気持ちです。

お目にかかろうと思って何回かコンタクトはしていました。ただ、新型コロナウイルス禍もあって、かなわなかった。ご自宅には2回ほど伺ったことがあるので場所は知っています。たとえ周囲に止められたとしても、押しかければよかったかと、今になって思います。

最後にお会いされたのはいつでしょう。

小野寺氏:稲盛さんが英国から勲章(名誉大英勲章 KBE)を受章した際に、英国大使館で開かれた授与式がたぶん最後ですね。2019年の11月かな。

いろいろな話をしましたが、当時はもう京セラとかKDDIとかの事業については「お前らに任せろ」というスタンスでした。稲盛さんは大柄な人でしたが、以前に比べて一回り小さい後ろ姿に見えたのが印象に残っています。稲盛氏との出会いについて聞かせてください。1983年、京セラの迎賓館として知られる「和輪庵(わりんあん)」でのことだと伺っています。84年には稲盛氏が立ち上げた第二電電へ入社をされていますね。

小野寺氏:当時の私は、日本電信電話公社(現NTT)にいました。(民間企業で対抗馬となる)第二電電をつくる構想は千本倅生さん(現レノバ会長)に誘われてはいたので知っていましたが、誰が主体でやるかは知らされていませんでした。

稲盛さんは当初、電電公社の対抗馬は経団連が中心となつてつくると思っていた。でも、誰も手を挙げない。「それならば自分でやらざるを得ない」と。当時の稲盛さんは50歳くらいだったでしょうか。口角泡を飛ばして話すくらい、アグレッシブで情熱にあふれていました。

第二電電で何をしたいのか。米国に行った際に、みんなが平気で長電話をしている。いったい電話代がいくらかかっているのか心配になって聞いてみたら、とんでもなく安かった。「このままでは日本の産業界のためにもならない」とおっしゃっていました。

稲盛さんは財団をつくって(優れた科学者や芸術家をたたえる)京都賞を創設し、経営塾の「盛和塾」も始めた。後になって気付いたのですが、第二電電と京都賞、盛和塾の3つはほぼ同じ時期に始めているのです。京セラのトップを務めるだけでも大変なのに、これらを立ち上げている。

(写真:的野弘路)

移動体通信、つまり携帯電話サービスの立ち上げにも情熱を向けました。「これから生まれてくる赤ちゃんは一人一台の携帯電話を持つことになる」。NTTはハイヤーに設置する自動車電話に取り組んでこそいましたが、当時一人ひとりが持つ携帯電話の存在はまだ非常識でした。それでも半導体の小型化を見据え、経営会議のほぼすべての幹部の反対にもめげず説得して参入し、今日の携帯電話の普及の礎を築きました。

議論が大切、真剣に耳を傾ける

アグレッシブな稲盛さん。リーダーとして接して、どのような印象をお持ちですか。



小野寺氏:30代の時、稲盛さんのところに仕事で行って「帰る前に寄っていけ」と言われて、京セラの国際経営会議に参加したのです。次の日、当時の京セラの秘書室長が「DDIの若いのが稲盛に盾突く」と、(本人である)僕を目の前にして言うのです。確かに、いろいろと意見を言わせてもらったのは事実ですが(笑)。

「DDIの若い人が(意見を)言うと(稲盛氏は)じっと聞いとる。京セラの人が一言言うとすぐに反応が来るのに」と言われて驚きました。稲盛さんは、自ら起業した京セラのことは隅々までご存じだけけど、分野が違う電気通信事業は初めて。だからしっかりと聞く。自分で

決めたら誰が何を言おうがあらがえる人ではありませんが、意見を交わしている時は本当に真剣に耳を傾けてくれる方です。

日本航空(JAL)再建の時は既に稲盛さんも有名な方だったので、当時の幹部も話しづらかったと思うんです。JALの幹部に向けて話す機会をいただいたので、稲盛さんは自分が知らないことについてはきちっと聞いてくれる人だとメッセージを送りました。

中途半端な知識で判断されると、稲盛さんですら間違ふこともあり得る。だから、「皆さんは自分たちの意見をきちんと伝えて、稲盛さんと議論した上で決めるべきだ」と伝えました。

稲盛氏「死ぬまで勉強するしかない」

稲盛さんの考え方は、周囲からすると規格外な面もあったのではないのでしょうか。

小野寺氏:一部の大企業には「稲盛アレルギー」もありましたよ。組織として動く前提ですから、フィロソフィーやアメーバ経営の話は、発想が全く違うものだったのでしょうか。



すごいなと思ったのは、フィロソフィーのようなものを自らつくり出したことです。フィロソフィーは稲盛さんにしか教えられません。DDIのもつくれとも言われた時には、若い役員でものすごく議論したけれど、やはり稲盛さんが書かれた以上のことを新しく考え出すのは無理でした。だいぶ怒られましたが。

「俺も実践できているかという、完全にはできていない。とにかく死ぬまで勉強するしかない」と、亡くなる10年くらい前からおっしゃっていました。フィロソフィーを教えるというより、みんなと一緒に勉強するんです。稲盛さんは、お願いすれば何度でも講演をしてくださる。ただ、本当に重要なのは「その後のディスカッションにある」と。経営幹部がどのような考え方をかってフィロソフィーを学んでいるのか。もしくは稲盛さんにどうい

う聞き方をするのか。

小野寺さんも経営者として組織を長くけん引されました。稲盛さんの哲学を、ご自身の経営にどう生かしましたか。

私がKDDI社長となったとき、国際電信電話(KDD)など社風の異なる3社をどう融合させるかという課題があり、稲盛さんの姿勢を学んでいたことが役に立ちました。

あとは「胆識」が大事だと。考え抜いて、腹に落ちて、初めて実行に移さないと経営なんてできない。そう言われたこともありました。

よく「名経営者」といわれるでしょ。でも本人に聞いたら「俺はそんなことはない」と言うに決まっています。でも経営者としての努力はすごくしていました。海外出張もぞろぞろとお付きをつけずに自ら行って、小さなコーポレートジェ

ットの機内でもレポートや本を読み込んでいましたね。とにかく行く先々でいろいろな人と直接話す。普通の経営者ではなかった。

KDDIとして合併する頃までは、正直いうと稲盛さんにいろいろ叱られてきました。ただ、京セラの古い人もそうだとおっしゃっていましたが、叱られたという印象が残らない。逆にほっとするくらい。叱られたということよりも、「やっぱりここが抜けている」という気付きが残る。そこが稲盛さんのすごいところですね。

最後に、稲盛さんへ伝えたいメッセージはありますか。

小野寺氏：……(言葉に詰まりながら)私にとっては、恩師。本当に、恩師です。稲盛さんがいなければ私はきっとそのまま、電電公社にいたでしょうから。

○下請けへの厳しい対処は松下電器から学んだのでしょうか



どこの大手も下請けや発注先への態度は横柄で厳しいものでした
いまではどうでしょうか？

=====西山 和宏=====

○森くんが言うように、京セラ自体は私達納入業者に対して、厳しいものがありました。

「アメーバ経営」で社員も利益を上げるように厳しく管理されていたことが私達納入業者に波及していたのでしょうか。



「アメーバ経営」は当時から有名でしたが、それに直接納入業者として携わる私たちは、たまったものではありませんでした。

そのため、利益より量を求めているいろいろな売り込みをしたものです。

しかし、ここまでの企業を育てられたその経営手腕には脱帽です。

稲森名誉会長の「利他の心」と人間的な魅力がそうさせたものと思います。

隈元達雄

○20作品目になりました。

とりあえず30作を目指して、40本目を作れたら嬉しいな！と思っています。

今回『三峽クルーズ』ごらんください。

大石ケイジの中国スケッチ⑳三峽クルーズ

<https://youtu.be/Vvke6Tlhdg8>



【制作メモ】

『長江三峽を下る旅』は天文館地区の仲間たちとその知り合い10名ほどの「仲良しグループ」旅でした。

親しかったグローバル旅行社に相談して、担当の深栖さんからすぐに企画案が出来上がり、本人が引率してくれるということで決定しました。深栖さんにはその年の11月にも『黄山』に連れて行ってもらいました。

こちら深栖さんの建てたプランに乗っかりました。初めてで最後になった家族(妻と娘の三人)の楽しい旅でした。

そのうち『ケイジの中国スケッチ』何番目かで紹介しようと思っています。

この当時はまだ SD カードの画素数は16mbか32mb が普通で、128mb は結構高価でした。ぼくが持っていたソニーのサイバーショットは記録メモリーがSDではなく細長い紫色のメモリースティックでした。撮った写真はプリンターか街の「富士プリント」へ、ほとんどは縮小して HP に掲載しました。

これはと思うシーンはカメラの位置を128に設定して撮りました。普段は64でした。今、この頃の保存画像を見直してみると半数は、とても大型のテレビではみじめなボケかたをします。

特に、三峡クルーズではこんな達しが当局(中国政府)から出ていました。「三峡での静止画像、つまりカメラで風景などを撮ることが禁止されているとのことです」。「ムービー動画の撮影はOKですよ」とガイドの斉さんの話でした。

つまり何ですか？ 三峡ダムの記事現場を撮られたくないという事でしょうか？

中国では危険なことをするとスパイ容疑を掛けられ旅行者もへつたくれもない... そんな話を聞いてたので用心用心。ぼくはサイバースhootを諦めて、持って行ったパナソニックのムービーをカメラモードにしてシャッターを切り撮りました。当然、画素数は小さく32か64程度なので拡大が厳しかったです。同行した仲間も同じような状況でした。

『中国スケッチ②』の構図をどうしようか？ 8日間には3日ほどは成都市・(三星堆遺蹟・大足石刻)・重慶市内・荊州・武漢市。。。なども見学したのでその記録をしっかりと PDF メモリーに残してあります。それらの紹介は？？

イメージされる三峡の雄大な川の景色はメインであっても一部にしかすぎなくていいのかなあ... 悩みました。

実は、そんなことを考えながら「あの頃のことを」思い出すのはとても楽しいことです。頼まれて書いている(創っている)わけではないので、今ぼくの頭の中は、旅から帰って来て「ケイジワールド」という自分の HP の構想を練っている頃と、同じ気分を味わっています。あれからはほぼ20年の時空が足されました。

● 半の彫刻物も素晴らしいです。

何と言っても峡谷美は中国の大河ならではのものでしょう。



今回も楽しませてもらって、いつものように中国の奥深さに触れることができました。
ありがとうございます。

隈元達雄

○大石



早いですネ。ありがとうございます😊

難産でした。画像が古くてアナウンスで誤魔化そうと思ったら画像とコメントがマッチングしないで何度もやり直し又一步進歩はしましたけど。

○大石ん



大石ケイジの中国スケッチ②三峡クルーズ 見せていただきました。

あなたが 後半 「中国スケッチ②」の構図はどうしようかと迷われた通りの感想になってしまいました。

三峡クルーズですので 三峡の雄大な川の景色を見ました。 少なかつた感じですが...

「大地の子」でも 三峡下りの場面があつた記憶あります。

「三国志」関連の建造物、船がダムを通過するのかなども興味深く見ました。

都市編については コロナ 最初の発生地 武漢市の興味をもって見ました。

ケイジのスケッチ②「三峡を下る旅」編 有難うございました。

次は どんな スケッチ？ 期待しています。 木場 祥雄

追伸

見終わってから リニューアル版 三峡クルーズ 見ました。 よくまとめておられ

三峡の雄大な川の流れ 楽しめました。

有難うございました。

○大石 慶二 様

中国紀行、毎回、感心しながら拝見しています。



現時点で、20数年前の写真や動画を編集して、あれだけの「解説」を入れてのレポート【紀行経過】を、よくぞ見事に纏められていますね？！ 感嘆そのものです。

その旅行時、こまめにメモなさっておられるのでしょうか、史跡や仏像などの謂れや名称なども、只今のよう
に書いておられる。 ホントに観る者にとって、わかり安く、臨場感をもって拝見出来る事、ありがたい事です。

自分も、過って、北京・天津・大連・旧満州各地の北部中国と杭州・蘇州・上海などの南部地方の一部は旅行で訪れたことがあります。今回の三峡クルージングやシルク・ロードなどには、ただただ、憧れをもって眺めている自分です。もう、行けないですが、若い時、せめてシルク・ロードを一巡したかったと思っています。

たくさんの感動、ありがとう！！

2022, 9, 5、 本田 哲郎。

○メールアドレス変更しました

メールアドレス変更しました。yohitsu391@gaia.eonet.ne.jp

いつも沢山のメール頂いておりますが、返信せず読むだけで申し訳ありません。

時々メールは読んでおります。

今後ともよろしく願います。

=====古里 洋津

9月9日おはようございます大石です

長く(一年間)続いた南日本新聞の連載(パピヨン)川越宗一作品も終わりました。キリシタン大名の話でした。最初の



1.2週間読んでいましたけど続きませんでした。小説『天地に燦たり』がとても面白く勉強にもなったので期待していましたが、そのうち新書になったら読むかも知れません。

さて、今日はエリザベス二世英国女王陛下  の突然の逝去がテレビを賑わしています。

さぞかし統一協会と安倍元首相国葬問題で窮地にあった政府(岸田)関係者は一安心??してるのではよし悪しは別に『天の助け』はあるものですね！

台風以外に近辺に大した話題はありませんが今朝は 2 編の新聞切抜きを送りましょう。

切抜き作成はいい勉強になります。それはその記事を繰り返し読むからです。

習近平の中国  は続編です。この通りに習近平が考えているとしたら間違いを気づいて欲しいです。一方、沖縄県知事選に立候補している元衆議院議員下地幹郎氏の『普天間米軍機の馬毛島移転説』も関心して読みました。

有力候補です。もし当選したら馬毛島の辿る道は如何に??です。鹿屋基地もいよいよ市内はアメリカ  の兵隊さんたちが闊歩する街になりつつあります。大反対する気はありませんがトラブルは必ず発生します。住民デモ騒ぎだけはごめんを被りたいものですね。

◎中国人または習近平の思いは、かつての恥辱をうち払い栄光ある中国の再現だと思えます



そのために手段を選ばない行為にでることは十分に考えられます

それを対話で押しとどめることは空しい願望です。

日本は防衛費のGDP比率を上げると言っていますが、その前に分母のGDPを増やせば比率を上げなくても防衛費は増えます。

日本はこの 20 年間、他国と異なり GDP を増やすことはありませんでした。
安倍さんの最長総理在任期間中にも国民所得が増加することはありませんでした。
これは資源の消費を増やさないとことでは評価されてもよいでしょう。
しかし、国力は大幅に落ちました。

新型コロナでは、マスク、手洗い、3 蜜を避ける以外の遜減しかできない専門家たち
日本は指導層の質の劣化がいろいろな問題を引き起こしています。
「秘闘；岡田晴恵」には、日本の指導層の劣悪さが書かれています。

=====

西山 和宏

=====

◎9 月 13 日

RE: 肥薩線は 3 度死ぬローカル鉄道が陥った隘路

鉄道 150 年目の岐路(1)

ひしゃげたレール、跡形もなく崩れたホームや待合室――。まるで爆撃を受けたかのような惨状を目の当たりにして言葉を失った。ここは JR 肥薩線の瀬戸石駅（熊本県八代市）。2020 年 7 月豪雨による球磨川の氾濫に飲み込まれ、壊滅的な被害を受けた。8 月 26 日、JR 九州は災害から 2 年経過した今も不通が続く肥薩線の被災現場を、初めて報道陣に公開した。さび付いたレールの間からたくましく伸びた雑草は、列車が来なくなって久しい現実を映し出している。

沿線では住宅を再建するつち音が響き、道路や橋も仮復旧が進んでいる。にもかかわらず、鉄道だけは 2 年間、時の流れが止まったままだ。

瀬戸石駅の被災現場。ホームや待合室は跡形もない



肥薩線を復旧させるかどうか、JR 九州と国土交通省、地元の熊本県の間ではいまだに結論が出ていない。運営する JR 九州は「慎重に検討していく必要がある」（地域戦略部の上符友則部長）などと後ろ向きな発言を繰り返している。背景にあるのは被災前の 19 年度、現在不通となっている八代（熊本県八代市）～吉松（鹿児島県湧水町）間で年間約 9 億円という営業赤字を出していたこと、そして何よりも利用客が少なく、公共交通機関としての体をもはや成していないことだ。

ここ数年、JR 各社が赤字線区の輸送密度（1 キロメートルあたりの 1 日平均旅客輸送人員。平均通過人員とも言う）に加えて、収支を公表し、社会的議論を巻き起こしている。JR 九州は肥薩

線に関してはさらに、通勤定期利用客、通学定期利用客などの内訳、各駅の利用人数といった詳細なデータも開示した。その数値は惨憺（さんたん）たるものだ。

国鉄分割民営化により JR 九州が発足した 1987 年度、八代～人吉（熊本県人吉市）間の輸送密度は 2171 人。通勤定期利用客が 138 人、通学定期利用客が 255 人、普通乗車券の利用客が 1778 人である。これに対して、被災前の 2019 年度の輸送密度は 414 人。87 年度と比較して 81% も減っている。 さらに注目すべきはその内訳だ。普通乗車券の利用客が 340 人と大半を占め、通学定期利用客は 64 人、通勤定期利用客に至っては 10 人しかいない。地域戦略部の堀江秀理担当部長は「これは日常的な利用がほとんどないということ」と説明する。

JR 九州は 2004 年 3 月の九州新幹線部分開業（新八代～鹿児島中央間）に合わせて、肥薩線に「D&S（デザイン・アンド・ストーリー）列車」と呼ぶ観光列車「はやとの風」「いさぶろう・しんぺい」を走らせはじめた。このような取り組みは肥薩線が全国の先駆けで、09 年 4 月には蒸気機関車「SL 人吉」、17 年 3 月には「かわせみ・やませみ」も投入し、ローカル線再生の旗手として注目を集めてきた。

観光列車が週末の集客につながったのは間違いない。しかしにぎわうのは土日の 2 日間だけで、残り 5 日間の平日は閑古鳥が鳴く。結果的に、輸送密度の下げ止まりにはつながらなかった。

大量輸送機関として 3 度の“死”

実は、この路線は 1908 年の開通から 100 年を超える歴史の中で 3 度、“死”を迎えている。

肥薩線はもともと、本州との玄関口である門司港駅（北九州市）と九州南端の鹿児島県を結ぶ鹿児島本線の一部として建設された。当時の技術では長いトンネルを掘ることが難しかったため、球磨川沿いを這（は）うようにして線路が敷かれた。しかし昭和初期の 1927 年に熊本県水俣市や鹿児島県薩摩川内市を通る海沿いのルートに取って代われ、鹿児島本線から肥薩線へと名前が変わった。これが最初の“死”。ただ、熊本から宮崎へと向かう重要なルートではあり続けた。

ところが 95 年、九州自動車道がほぼ並行するように開通。肥薩線は球磨川沿いを蛇行して走り、熊本・宮崎県境の峠をループ線やスイッチバックで越えるのに対して、高速道路は長大なトンネルで直線的に結んだ。利用客はマイカーや高速バスに移行し、2000 年、熊本～宮崎間を肥薩線経由で結んだ急行「えびの」が廃止に。2 度目の“死”を迎える。

04 年には九州新幹線の部分開業により、肥薩線を最初に“死”に追いやったはずの鹿児島本線八代～川内（鹿児島県薩摩川内市）間が第 3 セクター「肥薩おれんじ鉄道」として JR 九州から切り離されることになった。本来であればこの時点で肥薩線も役目を終えて 3 度目の“死”となるはずだが、新幹線に並行していないという理由で、JR 九州からの切り離し対象にならなかった。そこで同社は一計を案じる。球磨川沿いの景色や全国でも数少なくなったスイッチバックなどを観光

資源と捉え直し、新幹線から観光客を呼び込む路線として存続を図ろうとしたのだ。利用客の下げ止まりには一定の効果があったものの、抜本的な増加に結びつけるには至らなかった。

災害前、肥薩線には複数の観光列車が運行されていた



それでも、何もなければだらだらと延命してきたのかもしれない。しかし20年7月の豪雨災害で、実に448件の被害が発生。球磨川に掛かる橋梁なども流失し、復旧費用は235億円に上ると推計された。上場会社であるJR九州が年間9億円の赤字を垂れ流す路線に巨額な復旧費用を投じることは、株主の理解を得られまい。

これに対して国交省は、橋梁の掛け替えは河川整備費、道路のかさ上げと一体的に復旧させる部分は道路事業費で賄うことで、JR九州の負担は76億円まで圧縮できると表明した。さらに線路などの設備を地元自治体が保有する「上下分離」のスキームを活用すればJR九州の負担は25億円で済むという。

それでも、莫大な赤字を生む路線を復旧させるべきなのか。さらにJR九州の負担が減るといっても、減った分は結局のところ公費負担となる。税金の使い道として妥当なのか考える必要がある。

「大量輸送」「高速輸送」「渋滞がない」。こうした公共交通機関としての鉄道の特徴が、肥薩線にどれだけ当てはまるのだろうか。JR九州が今、被災現場を公開した背景には、社会的な負担の観点から議論を喚起する狙いがあるとみられる。



現実には、すでに肥薩線の「三度目の死」を織り込みながら進んでいる。



坂本駅（八代市）の駅舎には、天井近くまで浸水した痕跡が生々しく残っていた。その駅舎を抜けてホームへと向かうと、信号機はなぎ倒され、レールは土砂で埋まっていた。

これも災害の爪痕かと思いきや、実はそうではないという。線路部分を復旧工事で使う土砂の仮置き場として九州地方整備局に貸し

出しているのだ。もし鉄道を復旧させるとなれば土砂を撤去することになるが、一旦埋もれてしまったレールは敷き直すしかないという。

坂本駅の構内は土砂置き場に使われている
白石駅の構内は応急復旧路になっている

白石駅（芦北町）では、線路のうち幅5メートル分がアスファルト舗装され、工事関係者や地元住民の応急復旧路として活用されている。ホームの真横をダンプカーや宅配便のトラックなどが走り抜け、重要な



生活インフラの一翼を担っていることが分かる。こうした線路敷きの貸し出しは全線で14カ所、約6キロメートルに及んでいるという。堀江氏は「九州地方整備局からさらに要請があれば提供していく」と話す。生活再建のためには鉄道の復旧は優先順位が低く、むしろ犠牲になっている側面が強い。

以前は「SL人吉」などが発着していた

肥薩線の現場を取材した後、肥薩線沿線の主要都市である人吉市へと足を運んだ。九州新幹線の新八代駅から人吉へは、宮崎駅への高速バス「B&Sみやざき」が利用できる。運行本数は1日12往復、所要時間は40～50分で料金は片道1420円。これは肥薩線を走っていた観光列車（1時間30分、2500円）よりも速くて安い。

夕刻の高速バスには、旅行客に交じって場違いな高校生が1人乗っていた。人吉インターのバス停に着くと、迎えに来ていたクルマに乗り込んで去って行った。その様子は、地方の鉄道駅でよく見る光景となんら変わりがない。

人吉インターのバス停には、新八代、熊本、宮崎、鹿児島、そして博多への高速バスが頻繁に発着している。肥薩線が不通であっても、陸の孤島ではないのだ。事実、列車が2年間やってこない人吉駅の窓口では、人吉インターからのバス乗車券が販売されている。駅員は「肥薩線の切符は売れないが、バスの切符を買い求める人は多い」と複雑な表情で話した。JR九州は不通区間のうち、八代市内と人吉市周辺の一部区間で代行タクシーを用意しているが、利用客は1カ月間でどちらも10人に満たないという。つまり、誰も利用しない日のほうが多い。

一方、同じく豪雨災害で被害を受けた第3セクター「くま川鉄道」（人吉温泉～湯前間）は、土曜日の昼間でも3台の代行バスを走らせていた。沿線に点在する高校に通う通学客が多いためだ。輸送密度は1101人（19年度）と決して多くはないが、その8割を高校生が占める。通学時間帯に利用が集中するため、代行バスでの輸送が容易ではない。

そこで沿線自治体が線路を保有し、鉄道会社は運行に特化する上下分離を採用し、国の補助金も活用して早々と復旧を決めた。21年11月に一部区間が開通し、残る区間も25年度に復旧するめどが立った。くま川鉄道では高校生の通学のために代行バスが複数台走っている

くま川鉄道は旧 JR 湯前線。輸送密度が 4000 人未満であることから廃線対象となり、1989 年に第 3 セクターが運営を引き継いだ。JR 九州に残った肥薩線、切り離されて地元が運営を引き継いだくま川鉄道で明暗が分かれている。

ローカル鉄道は本当に必要なのか、必要ならば誰が費用負担をすべきなのか。国鉄の分割民営化から 35 年。新型コロナウイルス禍で鉄道会社の経営に余裕がなくなり、根本的な問いが投げかけられている。



◎西山さん

肥薩線の状況 全然知りませんでした。豪雨で たいへんな被害を受けて



いたのですね。私自身 吉松駅まで そこから先 八代駅まで 気にかけていなかったです。

状況よくわかりました。ありがとうございました。

木場 祥雄

◎森コメント



西山さんの投稿で平成20年7月に八期歴史好き仲間4人で人吉の史跡巡りを計画しホテルまで予約していたのにこの水害で計画がおじゃんになったことを思い出しました。

◎そうだったなあ。



しかし、その穴埋めに森くんの従兄弟の秋丸さんのお宅や、黒木邸を訪ねる「えびの市の歴史旅」に行つて、日帰りではあったが楽しい、有意義な一日を過ごしたことを思い出します。

あのとき、えびのの中華料理屋で食べた「冷麺」をまた食べたい。

隈元達雄

◎そうでしたか それは残念でしたね



ところで、あの辺に日本でも有数の高地に駅があったと思いますが
ご存知の方はいませんか？

=====西山 和宏=====

◎西山さん

いろいろと 興味をお持ちですね！



早速 Web サイトで 調べましたところ 人吉市にある 肥薩線矢岳駅 536. m が最高所の駅。
明治42年11月21日 九州を縦貫する鹿児島本線の一部として鉄道院が開設した歴史ある駅で
往時の駅が 現存 経済産業省の近代化産業遺産に設定されているとの事です。

木場 祥雄

◎木場さん ありがとうございます。



現在は最高所ではなくなりましたが
昔、小学生か中学生のときに
その駅、矢岳駅ですか、そこで降りて
草むらに座って先生から最高所の駅であるとの
説明を聞きながら錦江湾を眺めました。

=====西山 和宏=====



◎隈元さん

それで しばらく「冷麺」だか「冷やし中華」の話題で盛り上がりませんでしたか....

=====西山 和宏=====

◎当然のことながらしばらくは冷麺の話で盛り上がったのは言うまでもありません。



私のかすかな記憶では人吉の矢岳駅はすぐ近くに梅園があり、そこを歩いて行った先にあります。
もう30年近く前に行ったことがあります。

その時、近くの売店で買った「出刃包丁」を今でも使っていて、次男の釣ってくる魚を捌くのに現在も使っています。(私は料理はできません)

どういう経緯で買ったのかわかりませんが、刃物が有名だったのかもしれない。

◎西山さん

最高所 駅 矢岳駅 思い出の駅 だったのですね。



小学校の修学旅行？ですか

よい思い出、記念ですね。木場 祥雄

◎隈元さん

出刃包丁とは面白いですね



木場さん

修学旅行ではありません

先生が最高所の駅を教えることを目的に何にもない矢岳駅に連れてきたと
その時も感じていました

=====西山 和宏=====

◎西山さん

肥薩線で スイッチバックループ ということばを 思い出し 肥薩線スイッチバック



とWeb サイトで 見ましたところ 人吉市大野町に 大畑駅(おこばえき)(294m)と
矢岳駅(537m)の高度差243mを直径600mのループ線とスイッチバック、さらに
33.3%の勾配という状況の地形を克服しているようです。

動画も見ることができ、雄大な景色も 見ることも できました。

また、一つ 珍しいもの 見ることも できました。よろしく

木場 祥雄

◎木場さん ありがとうございます。

ユーチューブ何本か観ました



沿線に人家も畑もない景色は素晴らしいものでした
人吉から矢岳を経て吉松へ、途中で運転手が
ハンドルを持って前から後ろへ移動などなど面白い。

また車内もレトロでいい感じ

一度訪れるべきであったと今更ながら思いました

スイッチバックとアプト式と教わりました

箱根登山鉄道はスイッチバックでしたかね....

=====

西山 和宏

◎西山さん



肥薩線で スイッチバックループ ということばを 思い出し 肥薩線スイッチバック
と Web サイトで 見ましたところ 人吉市大野町に 大畑駅 (おこばえき) (294 m) と
矢岳駅 (537 m) の高度差 243 m を直径 600 m のループ線とスイッチバック、さらに
33.3% の勾配という状況の地形を克服しているようです。

動画も見ることができ、 雄大な景色も 見ることが できました。

また、一つ 珍しいもの 見ることが できました。

よろしく木場 祥雄

◎隈元さん

出刃包丁とは面白いですね



木場さん

修学旅行ではありません先生が最高所の駅を教えることを目的に
何にもない矢岳駅に連れてきたと

その時も感じていました

=====

西山 和宏

=====

◎西山さん

最高所 駅 矢岳駅 思い出の駅 だったんですね。



小学校の修学旅行？ですか

よい思い出、記念ですね。

木場 祥雄

◎隈元さん



それで しばらく「冷麺」だか「冷やし中華」の話題で盛り上がりませんでしたか....

=====

西山 和宏

=====

◎ そうだったなあ。

しかし、その穴埋めに森くんの従兄弟の秋丸さんのお宅や、黒木邸を訪ねる「えびの市の歴史旅」に行って、



日帰りではあったが楽しい、有意義な一日を過ごしたことを思い出します。

あとき、えびのの中華料理屋で食べた「冷麺」をまた食べたい。

隈元達雄



◎ 西山さんの投稿で平成20年7月に八期歴史好き仲間4人で人吉の史跡巡りを計画しホテルまで予約していたのにこの水害で計画がおじゃんになったことを思い出しました。 森

◎ 西山さん



肥薩線の状況 全然知りませんでした。豪雨で たいへんな被害を受けて

いたのですね。私自身 吉松駅まで そこから先 八代駅まで 気にかけていなかったです。

状況よくわかりました。 ありがとうございます。

木場 祥雄

◎ 9月18日 台風一過でしょうか

◎ 大石くん

台風の日に入ったのでしょうか、これからの吹返しも用心しなくてはいけません、まあまあ感じで終わりそうでホッとしています。



今回は前触れが凄かったので、雨戸も全部締め切って台風来襲に備えていました。

5時過ぎに5分くらい停電をしたので、ちょっと心配をしましたが、すぐ回復しました。

話は変わります。

下の拙ブログに「藤崎たけし」さんがコメントを入れてくださいました。

参考までにお知らせします。

隈元達雄

["https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202104100000/"](https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/diary/202104100000/)

◎19日 大石アンサー

読みました。



コツコツ我が道(石仏 etc)やってますね。

藤崎さんも郷土史ファンというよりもひとつ上のハンターです。クマタツファンになるかも。ところで藤崎ブログにも訪問したりしてるのですか？

「ホームページ(県議)」とは別に『薩風?』ブログありますね。

◎調べたらブログ「薩風手帳」でした。



なんと2004年10月スタートでがんばっておられますね。

さすがに私とは視野の違うスケールの大きいものようです。

以前から歴史文書のことなど新聞でも見ていましたが、改めてブログを順を追って読んでみたいと思います。いい情報をありがとうございます。 隈元達雄

◎14号台風



大石さん、隈元さん、森盛さんはじめはじめ鹿県内にお住まいの八期会の皆様へ

14号台風は過去に例を見ない猛烈さとのことでしたが、人的、物的な被害はありませんでしたでしょうか。用心深い皆様方のことゆえ、多分格別のことはなかったろうと思いますが、案じております。

関東方面はこれからのようですが、予報を観る限り雨台風のような感じです。

佐倉市 古市

◎古市さん 大石アンサー

今度の14号は前評判(とは言わないよね)はあたかもルーヌ台風(恐ろしい台風でしたね)並と思っていました。



なんだかあっけなく過ぎて行きました。

雨も、風も大したことなかったです。

テレビでは建設中の高層マンションのクレーンが折れたと大騒ぎして画像がシンボリックに登場しましたがあれは当たり前現象です。

◎大石アンサー

やはり大戦秘話の特集かな?と思いきや、いつもとあまり変わっていませんね。



お昼から2つの墓(草牟田・郡元)を詣でて来ました。快晴でしたが時折りシャワーのような雨が運転している時は降らずお墓の前で清掃中に見舞われました。昨夜も『中国スケッチ』で五台山の文殊菩薩を勉強していたので突然空が変わると変な気持ちになります。

新聞切抜きは『高岡筋』30回に、今話題の宗教問題を『論考2022』統一協会からみに、もう一つ中村 修(1組)の兄さん明蔵さんの『語り継ぐ戦争』インタビュー記事をお届けします。

◎

◎今日の桐野作人「かごしま街道見聞記」・「庄内の乱で散った少年」の「衆道」のことはよくわかりませんが、薩摩



ではそれが特別に多かったとかあるのでしょうか。

もしそうであれば、世によく言われる薩摩の「男尊女卑」(そうではなかったとの説もある)「男女7歳にして席を同じくせず」などのことも影響しているのでしょうか。

ご存じの方はご教示ください。

古代史に盛んに登場する凄い権限を持った「宦官」も何故あれ程の力をもてたのでしょうか。

こちらもわかるようでわかりません。

隈元達雄

ほんのこの前、夏が来たかと思ったら…



♪♪季節が…何も言わず…過ぎて行きました。

♪今は…もお…秋…

台風一過普通なら真っ青は秋空がいっぱい広がっているはずなのに…この、どんよりした空は…なんなんだろうか?

久しぶりの切抜きです。

今回から高岡筋も都城に入りました。

このまま佐土原迄行くつもりでしょうか。

大石けいじ

◎大石さん

台風14号も 鹿児島市 上陸の割には 大した被害もなく 良かったですね



宮崎県 各地が 雨が 降り続き 大変のようですね。

メール 連絡有難うございます。

若干 連絡あいていたようで どうされているのかな?…と思っていました。

西山さん 提供の 肥薩線 3度死ぬ!のメールで 何人かの交信 交わされましたが あなたのメールが なかったので どうされているのかな…と気になっていました。

今晚の財津和夫さんのフォークソング 聞くようにします。

いつも ありがとうございます。 木場 祥雄



◎木場さん、実は、目下

『中国スケッチ 21』の資料集めと構成等で頭がいっぱいです。今回は中国近代史の重要人物【黄興】を取り上げようと



思いたち内容にミスがないようちょっと真剣なので頭はこれ一本です。

タッチしないで申し訳ない。

コロナ騒ぎも落ち着きそうなので秋(来月?)旅(東京から)でもしたいと思っています。東京なら西山さんや古市さんたちと『歴史談義』をしたいです。ついでに何処か史跡を案内してもらったり。 大石けいじ

◎9月19日

台風は同じ道来ると言いますが



今回はそのようでしたか？

昔、市内が台風の目に入り

台風が一転、無風青空状態になったことがありました。

薩摩は美少年の産地のようですが、それがアダになることもある

そのようなあなた、そのようなことにならないように....

=====西山 和宏=====

◎19日14:14

「円仁 唐代中国への旅」を読み始めています



遣唐使船が東シナ海を渡るのに苦労したのは
8月の中旬、台風に遭う時期に船出したことが
遭難の原因であったようです。

当時は都では台風遭遇の経験がなかったです

=====

西山 和宏

=====

◎大石の友人・小川景一さんからの投稿



◆台風一過、日本の謎をつらつらと

いきなりだが、豊臣秀吉が大陸を制覇しようとしていたことを大抵の日本人は忘れていて、中国や韓国は忘れてはいないが。▼秀吉は天皇を北京に移し、甥の秀次を大陸の関白に就任させ自らは家族と共に寧波に居住するという壮大なプランを実現するため、文禄と慶長の二度にわたり朝鮮半島へ兵を進めた。しかし、これは失敗に終わる。

▼秀吉の次の家康だが、関ヶ原から大坂の陣で天下を取った家康がまず考えたことは、元和偃武と呼ばれる内乱なき戦後社会をどうつくるかだった。家康は東アジアにおける政治体制の中で大陸-将軍-日本の間のロジックを考えた。

▼中国は東アジアにおいて華夷秩序という儒学的方法でアジアや世界を捉えていた。華夷秩序の”華”は世界の中心、”夷”はその周辺であるという意味になる。つまり中心から周辺にかけての秩序を中国は握ってやっていますということだ。

▼まさに聖徳太子や倭の五王以来、中国を師として遣隋使、遣唐使を派遣、多くの文明や制度を採り入れた。日本はまさに中華の華夷秩序の中で国家経営をやってきたのだ。

▼ところが秀吉は失敗したとはいえ、誰も考えてなかった華夷秩序を破ろうとした。

▼秀吉亡き後、その失敗を見た家康は華夷秩序の中で日本をどうしたら良いかを考え抜いた。その結果、中華と天皇と徳川將軍の間にレジティマシー（正統性）を確立しようと考えた。

▼つまり家康は日本の天皇が何らかのカタチで中国の皇帝から承認を得、さらに徳川將軍は天皇から承認を受けている姿をとって、東アジアにおける華夷秩序を乱すことなく徳川幕府を作り上げようと考えたのだ。

▼中国の華夷秩序とは儒学に基づいた漢民族の統治思想のことである。漢民族のことをチャイニーズという。そうじゃないものはノンチャイニーズ。

▼ところが、ところがだ。徳川幕府を開いてみると大陸ではチャイニーズの明王朝は滅亡、ノンチャイニーズである満洲族の清朝に代わっていたのだ。

▼これまでの漢族による明王朝の華夷秩序が消滅してしまい、モデルとして慕う中華の王朝が夷狄の異民族に取って代わられたのだ。

さて、どーする。

▼江戸の初期、日本には二つの儒学が生まれていた。一つは徳川幕府御用達の林羅山らの林家の儒学。もう一つは日本の朱子学、陽明学といった日本儒学だ。

▼江戸の儒学は大まかに慕夏論、水土論、中朝論という考え方がある。慕夏論は中華に憧れ、水土論は日本の国土を軸にして天皇や思想を組み立てようとし、中朝論は日本こそが中華であるとする。

▼その林家の儒学と日本儒学の中朝論が、な、なんと！！

放伐禪譲で交代する中華の皇帝より、万世一系の現人神である天皇を華夷秩序に変わる秩序の中心に据えれば良いと考えたのだ。

▼時を同じくして徳川幕府の叔父にあたる水戸黄門の徳川光圀が大日本史の編集を始めようとしていた。大日本史は今までバラバラに書かれてきた歴史を統合してつくりなおそうとした大事業で、書き終わるまで約200年を要した。完成は明治39年。

▼この大日本史の中に、天皇の正統性が初めて書き込まれる。日本の天皇家はご存知のように南北朝時代、南朝と北朝に分裂したが、北朝と南朝のどちらに正統性があるかということが大日本史は決定した。

さてさて、現在の天皇家は北朝、南朝？、果たしてどちらでしょう。是非調べてみてください。(^^)

▼で、その時に中国思想は日本に移り、そして天皇というものを現人神、ないしは国体として捉えようとする考え方が出現したのだった。

この国体思想が動乱の昭和史の裏地となっていく・・・。

◎ボストン美術展

大石さんこんにちは 昨25日、東京都美術館で開催中のボストン美術館展に行きました、多くの作品の中で、平治の乱を描いた「三条殿夜討巻」と吉備真備の活躍を描いた「入唐絵巻」の膨大な巻物が圧巻でした。参考までに資料を送付するのでご覧いただきたく。



本展はボストン美術館開設150年を祈念して、当初2020に日本開催を計画したけれども、コロナの関係で開催できなかったとおの事です。

佐倉市 古市

9月26日 ケイジの中国スケッチ②①黄興



<https://youtu.be/GhPsQPpxDPc>

ケイジの中国スケッチ②①黄興のユーチューブ動画説明文



2002年12月 鹿児島市日中友好協会は 日中国交正常化30年そして鹿児島市と黄興先生の出身地である長沙市との間で締結された「友好都市盟約20年」を記念した講演会を黎明館で開催した。

講師は黄興研究の第一人者、中村 義(東京学芸大学名誉教授)でした。

講演のタイトルは『辛亥革命の志士・黄興と西郷南洲』恥ずかしながら私・大石は初めてこの時「黄興」を知った。

それから5年後の2007年9月 長沙市との友好都市盟約25年目に、西郷南洲公園の中で最も桜島が美しく観れる場所に鹿児島市日中友好協会は『黄興先生南洲墓地参詣の碑』を建立し除幕式を行った。

今年2022年は講演から丁度20年目、碑の建立から15年目の記念の年である。ちなみに日中国交正常化50年、長沙・鹿児島友好都市40年でもあります。

・・・今から120年前、にわか仕立ての革命軍の先頭に立って、袁世凱の精鋭たちと、幾度となく闘っては破れ、時には『常敗將軍』と、陰口を言われながら、挙兵の指揮をとり、戦い続けた黄興。孫文や宋教仁のような、高邁な理念や、人民受けするスローガン、には無縁だったけれど、その人柄と風貌から、『中国の西郷さん』と慕われていた黄興。

建国の父とあがめられ、中国人の尊敬を一身に受ける孫文の陰になってしまった黄興。

今一度、中国近代史のなかで彼(黄興さん!)の果たした功績を追い続けてみたい。

…辛亥革命の3年前、黄興は、宮崎滔天(とうてん)とふたりで、尊敬する西郷のお墓参りに鹿児島をおとずれた。(1909年の1月だった)さほど遠くない時を隔てて、西郷も、黄興も、眺めたであろう目の前にそびえ立つ桜島…その前に青く広がる錦江湾。

ふたりの巨人の目には、それぞれの国の行く末を、どのように眺めていたのだろう。

それから2年後の1911年10月に起きた武昌蜂起、次々と各地にも波及し遂に、辛亥革命が成った。

黄興らの活躍で、秦の始皇帝以後、2000年続いた中国の王朝の幕はついに下りた。

…がしかし、一つの時代は終わったが、次の時代の幕開けには、遠い、苦難の道がまだ待っていた。

【黄興先生南洲墓地参詣の碑】が建つ南洲公園の眺望はすばらしい。黄興の墓碑の建つ長沙市の岳麓山のそれと比べても遜色はない。海江田順三郎 鹿児島県日中友好協会会長の永年の夢であった「黄興の碑建立」。

この地に立ってそっと目を閉じると、日中、それぞれの国民に永遠に愛され続ける二人の巨人・西郷さんと黄興さんの姿、そして、ふたりを慕い、後を追い続ける、若い戦士たちの勝どきの声が聞こえてくる。

◎大石さん



素晴らしい活動をなさっていますね

まさしく桜島が美しく見える場所に碑の建立

あなたは後列左から3番目

流石、西郷さん、中国の革命の志士黄興に多大の影響を与えたとは

初めて知りました。

そう言えば、シンガポールのリー・クエアンユーも

Look East ですよ

最近の日本は少し冴えない、国葬も滞りなく終えることができるかどうか

タイトルだけで言えば、

ヘミグンウェイの The Sun Also Rises 日はまた昇るありたい。

=====

西山 和宏

=====

◎大石くん

南洲墓地にも、もう2年以上行ってないかなあ！ 大石くんの youtube を見て思いました。



大石くん、森くん、永野和枝さん、時には今は亡き永野くんも一緒に「上町の史跡めぐり」の会に参加していた頃を懐かしく思い出しています。コロナ禍もあって断たれ、もう3年位になりますね。

あの会の集合場所だった南洲墓地で大石くんから、今日案内の「黄興」石碑の前で初めてその話を聞いたのが、もうずいぶん昔の気がします。

除幕式の写真には大石くんはもちろんのこと、海江田会長、西郷隆文さん、竹下くんの姿も見ることができました。

明治も終りに近い1909年(明治42年)に黄興がこの地を訪れていた事に「西郷どん」を重ね合わせて改めて感慨を覚えます。

そして、コロナが早く去って、また皆で南洲墓地を訪ねたいですね。

海外からの主脳陣の不参加 ここまで ひどくなかったように感じました。

木場 祥雄

安倍さん安らかに



国葬参列、海外からの弔問者は大変であったと思います

木場さんがいう国連総会 25 日までは日本時間で 26 日武道館は直前まで空手の試合があったとか？

27 日しか空いていなかったかもしれません

なんせ急なことですから、葬儀は急なものです

そして 10 月 3 日から臨時国会

小泉純一郎元総理は、総理大臣に必要なのは「運」だと言ったそうです。

岸田さんには、その「運」が、あまりなさそう。

尾辻さんの弔辞は多言を弄せず素晴らしかった

国葬で気になったのは、儀仗兵のユニフォームがさみしかった

演奏される曲に荘厳さが感じられなかった。

よく知られた曲を使うべきであったかしれない。

日本人が述べた弔辞は外国語に通訳されたのでしょうか？

弔問へいらした方々、わざわざ無理をして参列したのに

総理や政府要人も何の話もできず、挨拶もなかったと

各国駐在外交官は嫌味の一つも言われれば何かお返しをしなければならない。

高いものにつきそう。

吉田茂元総理以降、国葬は行わないこととして、国葬に関する法律を廃したはずですが。

国葬のやり方について論議するのではなく、

元首以外には国葬はなしと確認すればスッキリする。

国葬は時代遅れのセレモニーです。

そもそも国葬とか勲章とは国のために命を捧げた軍人へのものであって

政治家が欲しがるとは情けない。

バッチを付けているのは、日本だけらしいですよ！

議場への通行証なら別に準備すればよい。

小中学校の先生たちは、国葬を児童や生徒たちにどのように説明したのでしょうか？

説明不足がたくさんあります。

=====

西山 和宏

=====



◎私はただ一言です。

国民に弔慰を求めない(求められない)国葬というのがあることが不思議です。

隈元達雄

◎9月29日

今回の、安倍元総理の「国葬」は、まさに岸田総理の「早やトチリであって、国会・国民の意向も聞かずに、全く「閣議」という行政機関だけの「誤った判断」だけで、強行した誠に、岸田総理が就任以来言といる「人の意見を聞く男」を、無視する言葉だけの「為政者である」ことを、証明した「事案」でありましょう。



少なくとも、「国葬」という以上は、過去の各総理の葬儀がどうであったか？を具に検証してからでもきめればよい事を、世上言われている岸田総理の「論理」はあまりにも、民意も無視した「性急な決め方」であったとみられます。

直前のエリザベス女王の「国葬」と比較しても、外交弔問団だって見劣りどころか、最初の事案発生直後の、アチコチからの「弔問外交辞令の言葉」を鵜呑みにした岸田総理の「早とちり」が、国葬当日の海外からの弔問団は、誠に、主要国の首脳など、皆無に近い「惨状」でありました。

国葬で、ただ一つの救いは、友人代表でしょうが、菅前総理の弔辞は、故人について長い繋がりがあっての、誠に胸に響く、日本人らしい「弔辞」であって、感動されました。

ただごく近くにおこなわれたエリザベス女王の「国葬」と比較されるのは迷惑だろうが、衛兵たちの服装やふるまい、演奏などの進行過程などには、ガッカリしました。

イギリスの「英連邦の重鎮」としての、格式と遺族中心の国葬には、すべて納得できるほどでしたが、結論として言えば、こちらの国内は、意見も割れた、一部の方々だけの「国葬」と言えば、言い過ぎでしょうか？！

今後の、「国葬」の在り方も、次の国会などで、追求や協議がなされるでしょうが、今回の事例は、憲法違反と言われても仕方のない、政府【行政】だけの決定であります。

◎9月29日

大石さん

転送ありがとうございます



本田さんのご意見 ごもつともだとだと思えます

岸田さんは、恥を世界中にさらした。

私は国葬はそうあるべきかは論ぜず

以前、国葬に執り行わないことに決し

国葬に関する規定も廃した。

今、国葬に関する論議を行うのは国葬復活ということなり

以前決めたことを否定することになり、法の精神に悖るものです。

法匪的なやり方、国を誤るやり方を増長させることになる。

戦前の政府・軍部のやり方に戻りつつある。

=====西山 和宏=====

○大石様 皆様 いつも配信 感謝です。我々も いい歳になりました。体力の衰え実感しています。足腰へのエネルギー補充 昔のようにはなりません。歳相応もいいところですよ。国葬 安倍総理もこんなかたちで自分の葬儀が行われるなんて 思いもされなかったことでしょう。国葬反対派も 葬儀は葬儀 素直にご冥福を祈るのが日本のこころではないかなと 思った次第です。皆様のご健勝を祈ります。 長崎 諫早 森永



○11時今月のラストメールでした。



私は、タニタの体重計によると体内年齢75歳、足腰年齢85歳とでました
そこで、このところ少しは歩くように気を付けています。
足腰とは、よく言ったものです。

=====

西山 和宏

=====

【編集後記】



国葬が終わったと思ったら今日29日は『日中国交正常化50周年記念日』です。
20年(国交正常化30年頃から)も日中友好協会イベントに関わって来た関係で、マスコミ(鹿児島新聞、テレビ局など)からよく電話をもらいます。「こんな企画にふさわしい人はいませんか?」「中国人の方で、こんな話をして欲しいので紹介を…」など、何か、中国に関わると、誰からとなく、つてが回って僕の所に助けの一報が入るようになりました。相手の、自己紹介から始まって、ていねいに要件の説明が続きます。ぼくは経験で何の目的かわかるので、最初はわざと、冷たい態度でいかにも面倒がってだまって聞きます。聞き終わってから、相手に沿うように話し始めるとうれしそうな声調に変わるのが分かります。女性記者だつちちょっとした軽い話になったりします。最後の頃は なれなれしくなったりします。「わあ! 助かります! 早速、電話してみます。大石さんのご紹介、と言ってもいいですか?」でも、局の記者さんたちは、時間に追われていて、慌てているので早口で言うまでは…良いのだけど、気に入らないことがあります。それは、ほとんどの頼み人(記者)が「今日は助かりました」と、あとで、お礼の電話やメールをよこす人はぜっ絶対にいません。マスコミ人は取材に対する感謝の気持ちがないようです。時には意地悪気が起きて「上手いききましたか?」と訊きたくなります。日中問題がテーマになると又、健筆家の諸氏が侃侃諤諤(読めなくてもいいです)となるので来月にでも延ばしましょう。すっかり『歴史と政治の八期オンライン』が続いています。コロナも落ち着いたら、そろそろ『旅口マン』もいいのでは?と思います。 大石

<https://youtu.be/V0vQz3tzNMs>

上は大石制作した『日中国交正常化50年』ユーチューブ動画